

衛研第2 - 52号  
平成30年 3月28日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。  
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記

1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. インフルエンザウイルス検出情報
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
6. 全国及び関東情報
7. 今週の流行状況

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493 - 59 - 9325  
FAX 0493 - 59 - 9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成30年第12週（平成30年3月19日～平成30年3月25日）

今週の注目される疾患

図は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類及び二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢1人の届出があった。四類感染症の届出はなかった。五類感染症は、アメーバ赤痢1人、急性脳炎1人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人、侵襲性肺炎球菌感染症3人、梅毒4人、百日咳2人、麻しん1人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.74 3.34：図1)の定点当たり報告数は前週と比べ、わずかな減少に留まった。保健所別では、川口(7.53)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では5歳、次いで4歳からの報告が多い。**インフルエンザ**(5.88 3.32：図2、3)の定点当たり報告数は減少を続けているが、今しばらく注意が必要である。保健所別では、北部地域の熊谷(6.71)、本庄(4.57)保健所管内で報告が多い。第9～12週の4週間(2月26日～3月25日)に採取されたインフルエンザ検体からは、B型(山形系統)が59件(57.8%)、AH3型が39件(38.2%)、AH1pdm09型が4件(3.9%)検出されている。

眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎**18人(前週14人)の報告があった。年齢階級別では20歳以上で17人と9割以上を占めている。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎**1人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)**1人、**インフルエンザ(入院)**9人の報告があった。

## &lt;全数把握対象疾患の患者情報&gt;

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	細菌性赤痢	1人(病原体 <i>S. sonnei</i> )
四類感染症	報告なし	
五類感染症	アメーバ赤痢	1人(病型 腸管アメーバ症)
	急性脳炎	1人(病原体 不明)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人(血清群 B群)
	侵襲性肺炎球菌感染症	3人
	梅毒	4人(病型 早期顕症 期2人、早期顕症 期1人、無症状病原体保有者1人)
	百日咳	2人
	麻しん	1人(病型 検査診断例)

1 この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

## <今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

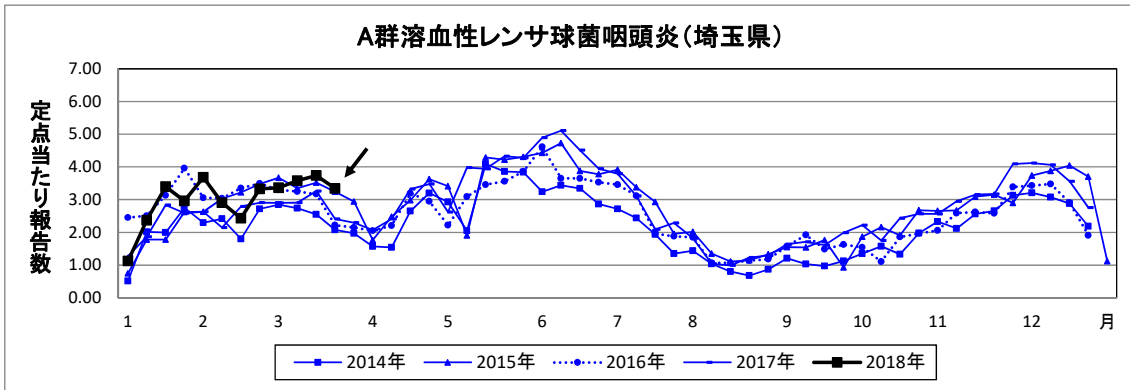
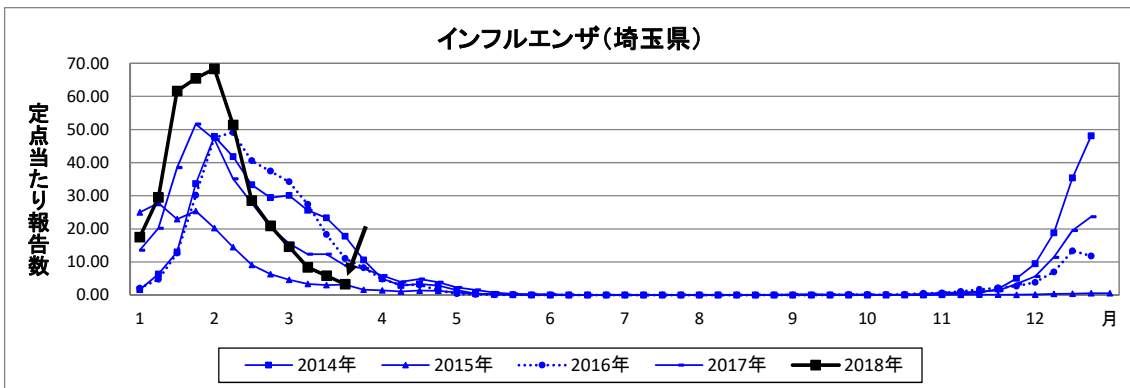


図2 インフルエンザ



## <インフルエンザウイルス検出情報>

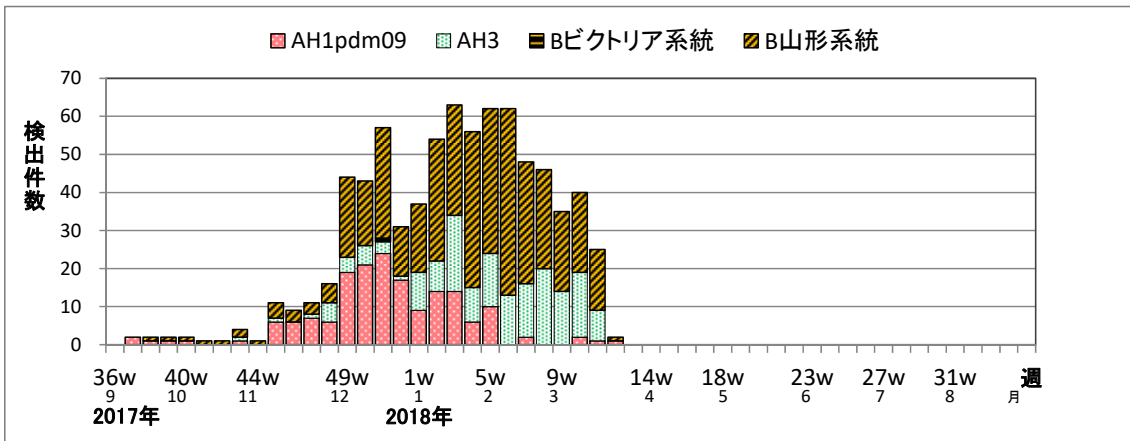


図3 AH1pdm09、AH3、B（ビクトリア系統、山形系統）の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第12週)

(2018年3月27日 15:00集計)

	今週 届出	累計	2017年 累計		今週 届出	累計	2017年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1301	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ		1		腸チフス		1	3
細菌性赤痢	1	4	7	パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症		9	246				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎		7	19	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		3	12	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			1
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア		1	1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症		10	99
つつが虫病		1	2	レプトスピラ症			2
デング熱			12	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢	1	9	53	水痘*		1	12
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		1	11	先天性風しん症候群			
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		12	57	梅毒	4	36	234
急性脳炎	1	13	45	播種性クリプトコックス症		1	3
クリプトスポリジウム症				破傷風			2
クロイツフェルト・ヤコブ病			4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	10	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	12
後天性免疫不全症候群		5	35	百日咳	2	47	-
ジアルジア症				風しん		2	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	21	麻しん	1	5	5
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2	8
侵襲性肺炎球菌感染症	3	44	130				
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘\*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計		1		

累計は診断日で集計  
\*2017年累計は暫定値です。  
\*結核は月単位で集計、別に掲載します。



感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第12週 平成30年3月19日～平成30年3月25日)

	合計		-6ヵ月		12ヵ月		1歳		2歳		3歳		4歳		5歳		6歳		7歳		8歳		9歳		10-14		15-19		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		70-79		80～									
	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	80～									
インフルエンザ #1	853	7	14	35	52	63	54	70	64	28	19	23	83	30	45	69	76	47	37	24	13																													
RSウイルス感染症	60	16	11	22	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
咽頭結膜熱	27	-	1	6	2	4	2	4	2	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	545	-	3	20	50	43	78	90	65	47	34	29	51	4	31																																			
感染性胃腸炎	792	5	36	104	76	80	76	65	73	55	50	32	59	10	71																																			
水痘	76	2	1	4	5	5	7	8	9	12	7	8	8	-	-																																			
手足口病	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
伝染性紅斑	5	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	1	-	-																																			
突発性発しん	67	-	20	31	6	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
流行性耳下腺炎	12	-	-	-	-	2	2	3	3	-	-	-	2	-	-																																			
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
流行性角結膜炎	18	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	5	4	2	2	1																															
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
無菌性髄膜炎	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																			
(入院)インフルエンザ	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6																																		

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第10週 (3月5日～3月11日)

平成30年3月28日

## <全国情報>

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(24.07)、福井県(21.19)、石川県(19.71)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は790例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(21例)、1～9歳(120例)、10代(31例)、20代(4例)、30代(9例)、40代(23例)、50代(29例)、60代(77例)、70代(139例)、80歳以上(337例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.65)、鹿児島県(1.42)、山口県(1.25)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.18)、宮崎県(0.94)、富山県(0.72)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(6.72)、鳥取県(5.26)、北海道(5.25)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(13.81)、広島県(10.13)、大分県(9.17)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.26)、福井県(0.77)、福岡県(0.46)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.03)、鹿児島県(0.91)、沖縄県(0.74)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は石川県(0.52)、神奈川県(0.14)、新潟県(0.14)、富山県(0.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.67)、鹿児島県(0.62)、青森県(0.36)である。

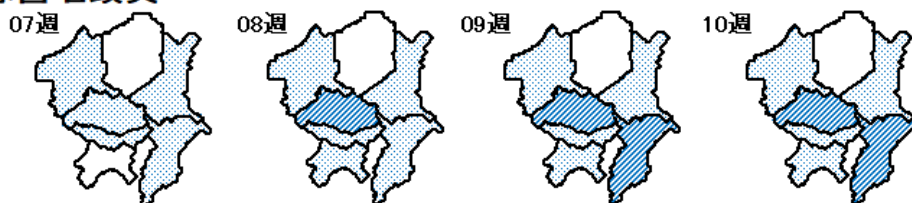
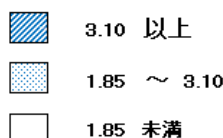
**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は石川県(0.40)、青森県(0.33)、宮城県(0.33)、奈良県(0.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。33都道府県から134例報告があり、年齢別では0歳(11例)、1～4歳(81例)、5～9歳(40例)、10代(2例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2018年 第10週(3月5日～3月11日): 通巻第20巻 第10号 より

## <関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、埼玉県(3.58)、千葉県(3.12)からの報告が多い。

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成30年 10週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	59,575	13,790	1,299	838	1,141	2,148	2,091	3,258	3,015
	定点当たり	12.05	9.13	10.83	11.03	12.97	8.39	9.77	7.91	8.76
RSウイルス感染症	報告数	1,282	236	12	9	11	72	22	57	53
	定点当たり	0.41	0.25	0.16	0.19	0.20	0.44	0.16	0.22	0.25
咽頭結膜熱	報告数	861	164	16	6	15	38	26	39	24
	定点当たり	0.27	0.17	0.21	0.13	0.28	0.23	0.19	0.15	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,317	2,509	193	81	127	580	421	627	480
	定点当たり	2.64	2.65	2.57	1.69	2.35	3.58	3.12	2.42	2.24
感染性胃腸炎	報告数	15,770	4,200	276	130	249	931	511	1,221	882
	定点当たり	5.00	4.44	3.68	2.71	4.61	5.75	3.79	4.71	4.12
水痘	報告数	826	296	20	13	11	65	48	83	56
	定点当たり	0.26	0.31	0.27	0.27	0.20	0.40	0.36	0.32	0.26
手足口病	報告数	421	43	-	1	9	9	2	12	10
	定点当たり	0.13	0.05	-	0.02	0.17	0.06	0.01	0.05	0.05
伝染性紅斑	報告数	180	81	1	6	3	6	15	20	30
	定点当たり	0.06	0.09	0.01	0.13	0.06	0.04	0.11	0.08	0.14
突発性発しん	報告数	1,090	348	14	17	22	67	43	101	84
	定点当たり	0.35	0.37	0.19	0.35	0.41	0.41	0.32	0.39	0.39
ヘルパンギーナ	報告数	36	5	1	-	-	1	1	-	2
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	-	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	396	75	4	1	15	10	7	20	18
	定点当たり	0.13	0.08	0.05	0.02	0.28	0.06	0.05	0.08	0.08
急性出血性結膜炎	報告数	8	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	367	129	16	5	17	16	12	6	57
	定点当たり	0.53	0.65	0.94	0.42	1.21	0.41	0.34	0.16	1.24
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	8	2	-	1	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	0.14	-	-	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	58	14	3	1	1	2	1	3	3
	定点当たり	0.12	0.16	0.23	0.14	0.11	0.20	0.11	0.12	0.25
クラミジア肺炎 #3	報告数	9	5	-	-	-	-	-	5	-
	定点当たり	0.02	0.06	-	-	-	-	-	0.20	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	134	20	1	2	5	1	3	6	2
	定点当たり	0.28	0.24	0.08	0.29	0.56	0.10	0.33	0.24	0.17

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)



感染症発生動向調査 2018年

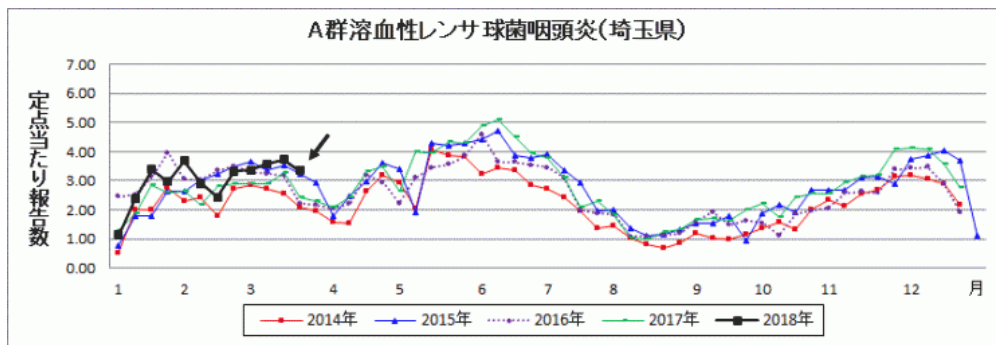
- [感染症の流行状況 2018年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2018年 第11週](#)

感染症の流行状況 2018年 第12週

2018年第12週（平成30年3月19日～3月25日）の要点 平成30年3月28日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、僅かな減少に留まりました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↓	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	↓	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン